

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

平均正答率

(単位%)

| 年度 | 教科 学年 | 国語 | | | 数学 | | | 英語 | |
|----|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 中1 | 中2 | 中3 | 中1 | 中2 | 中3 | 中2 | 中3 |
| 28 | 幡羅中 | 60.3 | 60.1 | 55.0 | 64.5 | 63.0 | 63.4 | 59.9 | 57.7 |
| | 県 | 59.0 | 58.0 | 56.3 | 63.9 | 60.1 | 62.6 | 58.2 | 59.2 |

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

| | 質問事項 | 中1 | | 中2 | | 中3 | |
|--------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| | | 幡羅中 | 県 | 幡羅中 | 県 | 幡羅中 | 県 |
| 生活習慣 | ・脱いだ履き物のかかとをそろえる | 93.5 | 92.3 | 98.9 | 90.8 | 95.1 | 89.6 |
| | ・あいさつをすることができる | 95.7 | 85.7 | 94.7 | 84.0 | 92.9 | 81.7 |
| | ・ていねい言葉づかいができる | 95.1 | 92.3 | 95.7 | 90.1 | 94.0 | 90.3 |
| | ・場にふさわしい態度をとることができる | 96.8 | 93.6 | 99.5 | 91.3 | 95.0 | 91.6 |
| 学習習慣 | ・家で学校の宿題をしている | 95.6 | 96.1 | 97.8 | 89.1 | 89.5 | 83.3 |
| | ・家で、授業の予習や復習をしている | 78.9 | 71.0 | 80.8 | 57.6 | 59.4 | 50.7 |
| | ・平日、学校以外に1時間以上勉強している | 70.8 | 65.4 | 77.5 | 63.3 | 71.4 | 69.0 |
| 教科への関心 | ・勉強は好きだ | 67.5 | 57.8 | 45.5 | 36.2 | 42.3 | 28.8 |
| | ・勉強は将来の役に立つ | 95.6 | 96.3 | 99.5 | 95.8 | 95.6 | 96.1 |
| | ・学級での生活は楽しい | 94.1 | 92.8 | 96.2 | 90.3 | 94.5 | 89.2 |
| | ・学校での生活には満足している | 91.3 | 90.6 | 94.1 | 86.6 | 86.8 | 85.5 |
| その他 | ・将来の夢や目標をもっている | 90.2 | 87.5 | 83.4 | 76.3 | 70.9 | 70.5 |
| | ・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している | 82.7 | 76.5 | 77.0 | 67.5 | 73.6 | 60.1 |
| | ・地域の自然や歴史に関心をもっている | 61.7 | 58.6 | 61.0 | 41.1 | 48.4 | 32.7 |

幡羅中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

○1・2年生の正答率が県の正答率を上回ることができた。

- 「熟語の構成を理解する」「ことわざの意味を理解し、適切に使う」「慣用句の意味を理解し、適切に使う」「四字熟語の意味を理解し、適切に使う」といった、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率が全学年低い。

【数学】

○全学年とも正答率が県の正答率を上回ることができた。

- 1年生は「分数の乗法の計算ができる」などの「数量や図形についての技能」、2年生は「絶対値について理解している」などの「数量や図形などについての知識・理解」、3年生は「一次関数の変化の割合を求めることができる」などの「数学的な技能」に関する問題の正答率が低い。

【英語】

○2年生の正答率が県の正答率を上回ることができた。

- 英語では、2年生は「基本的な語彙や文法・語法についての知識を身に付けている」などの「言語や文化についての知識・理解」、3年生は「短い会話文の内容が理解できる」「外国語理解の能力」に関する問題の正答率が低い。

【質問紙】

○勉強が好きだと答えた生徒の割合が全学年で県を上回っている。

○下校時間を守ったり、挨拶をしたり「時・場・礼」を意識した行動ができる生徒が多い。

課題への取組・改善策

【国語】

- * 既習の漢字を積極的に使用するよう指導するとともに、同音の漢字や形が似た漢字など、間違えやすい漢字に注意するよう指導する場面を設定する。
- * 語彙を磨き、語彙を豊かにするために、辞書や資料集を活用しながら着目した言葉について複数の類義語で言い換えたり、ことわざや慣用句、故事成語などの表現に置き換えたりする場面を設定する。また、比喻を用いて表現するなど、表現の仕方を広げるよう指導する。
- * 図書室の効果的・積極的な活用を図る。
- * 考える・調べる・発表するといった生徒の活動を大事にする。

【数学】

- * 計算の決まりに従って確実に計算できるようにするために、計算のきまりが成り立つことを確認する場面を設定する。
- * 反比例のグラフから x と y の関係を式で表すことができるようにするために、グラフの特徴と式を関連づけて考察する場面を設定する。
- * 目的に応じて条件を設定し、事象に即して数学を活用できるようにする場面を設定する。

【英語】

- * 既習の単語を積極的に使用したり、繰り返し声にしったり書いたりするよう指導する場面を設定する。
- * 短い文のリスニングを行い文字にしったり、対話形式で声にすることで文章の意味を理解するように指導する場面を設定する。

【その他】

- * 適切な課題(宿題)や補習授業の実施を通して、学習習慣の確立と、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

